

主な内容

CONTENTS

- ・ とも福祉教室 …………… 10
- ・ ボランティア団体紹介 …………… 11
- ・ ベストパートナー …………… 12

市民総参加による
「ひろげよう夢
育てよう
福祉のこころ」

こども福祉教室

～年寄りになるって・体に障害があるってどんなこと？～

2月5日（土）諏訪湖ハイツで、高齢者と障害者の疑似体験をしました。お年寄りになった時の体や心の変化について話を聞いたり、実際に高齢者疑似体験セットや、車いすを使って施設内を回ってみました。今回の体験から、お年寄りや体の不自由な人達の大変さを、少しでも感じてもらえたのではないのでしょうか。これから、どこかでお年寄りや体の不自由な人たちに出会った時、自然に声かけができたり、相手の立場になって優しい気持ちでお手伝いができるといいですね。



目の不自由な人たちは大変な思いをしているんだね

社会福祉協議会が提供する福祉サービスに関する意見・要望・苦情など

社会福祉協議会は、みなさんに常に気持ちよくサービスを利用していただくために、本会が提供する事業に関する意見・要望・苦情などをお聞きし、サービスの質の向上に努めます。いつでもお気軽にお申し出ください。

事業所名 (社) 岡谷市社会福祉協議会
連絡先 〒394-0081
岡谷市長地権現町4-11-50
☎24-2121 FAX 24-3555

○事業所の担当職員に直接ご相談ください。
苦情解決責任者 北袋寿雄（事務局長）
苦情受付担当者 古畑福和（次長）



- 事務所の職員に言いづらい場合は第三者委員にご相談ください。
第三者委員 横内 良一 ☎23-7088 小口 恒久 ☎22-7414
宮坂みや子 ☎23-3920
- 介護保険制度のサービスを受けている方は、介護福祉課（☎23-4811 内線1283）、または長野県国民健康保険団体連合会（〒380-0871 長野市大字西長野宇加茂北143-8 ☎026-238-1580 FAX 026-238-1560）でも受け付けています。
- 県でも苦情相談、解決のためのあっせんを行っています。
長野県福祉サービス運営適正化委員会
〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号（長野県社会福祉総合センター内）
苦情受付 ☎0120-28-7109 委員会事務局 ☎026-226-2210 FAX 026-291-5180
E-mail fukushi7109@nsyakyou.or.jp

発行・編集
岡谷市社会福祉協議会
〒394-0081
岡谷市長地権現町
四丁目11番50号
☎24-2121
FAX 24-3555
メールアドレス
okasha@alto.ocn.ne.jp

災害ボランティア募集!!

昨年来、何回となく襲った大地震、各地で起きた風水害、また20万人もの命を奪ったスマトラ沖大地震・大津波と、いつ災害が襲ってくるかわかりません。いざという時、誰かに助けを求めたい時、すぐに役立っていただける災害時救援ボランティアの募集をしています。随時受け付けていますので、多くの方々の登録をお願いします。

問合せ 社会福祉協議会 ☎24-2121



ボランティア団体紹介

虹のかけはし

私たち「虹のかけはし」は、平成13年度婦人の家の「ホームヘルパー3級講座」修了生の有志で発足しました。週2回デイサービスセンターでお茶入れ、入浴後の髪を乾かししたり、昼食の用意、話し相手等のお手伝いをさせていただいています。

“笑顔と挨拶は利用者とのコミュニケーションのキャッチボール。声かけは優しく、ゆっくり”をモットーにしていますが、私たちの方が利用者の方から元気をいただくことがあります。

また、デイサービスの職員の方々からいろいろなことを学ばせていただきながら毎回楽しいひとときを過ごしています。最近はおカリナグループの講師、前野先生に協力いただき、昭和初期の歌、童謡などを演奏し、利用者みなさんと一緒に歌っています。仲間との交流を深め見聞を広め、守秘義務を守り、今後もグループの向上を目指し微力ながら活動を続けていきたいと思っています。

ご希望があればいつでも出向いてオカリナ演奏もします。

「虹のかけはし」では、一緒に楽しみながらボランティアのできる方の入会を歓迎します。

問合せ 丸山 洋子 ☎・FAX 27-2464



諏訪・生と死を考える会

「諏訪・生と死を考える会」は、A・デーケン先生（ドイツ生まれ・元上智大学教授・全国生と死を考える会会長）の生死学に魅せられて、死の準備教育の一環として設立されています。

「ホスピス（ビハール）」「ターミナルケア」等の研修会や「施設の見学」等を行う一方、上部団体でもある「全国生と死を考える会」にも加盟しています。このような団体は全国で52団体有りそれぞれが地域にあった活動を展開し、「会報」を発行して情報交換などもしています。近隣では、茅野市・諏訪市・駒ヶ根市にあります。



▲いのちの作文コンクールには1720通の応募があり、選考は慎重に行われました

学校では「生きるとは」「死とは」「命の尊さ」等の教育が道德の時間に行われています。現在、上田女子短大ではこの授業が正課として取り入れられています。

設立から9年目に入り、また「いのちの作文」への取り組みは8年目に入り念（おも）いは「いのちの尊さ」についての啓蒙です。今日のテレビ・新聞の報道からしても徳育の必要性を叫ばずにはられません。

問合せ 諏訪・生と死を考える会 事務局
岡谷市南宮2-6-15
☎・FAX 24-3741 山崎 公久



ゼーダーの里帰り その2

北沢とも江

ゼーダーを連れて行くためにはオーストラリアの動物の輸出入の手続きと、人間に同伴させるための手続きを同時進行していかなければなりません。そのために、協力者を集める事、手続き方法などの情報集めに苦労しました。

しかし、大変だったのは私の家族だったのかも知れません。私は英語も話せませんし、ファックスやEメール等の扱いも自分ではできなかつたので、やり取りされる書類の内容を私に説明したり、必要な事務処理は家族がしてくれました。

また、オーストラリアの食品衛生法により国外で作られたドッグフードが持ち込めないことがわかりましたので、その手配も必要になりました。それでもゼーダーが健康だったおかげで9月13日無事にオーストラリアに出発することができました。オーストラリアに入った犬は動物検疫の為30日間の係留が必要になりますが、盲導犬であるゼーダーにはホテルを使って自宅検疫という形が取

られました。他の動物との接触を避けるため動物のいる場所への訪問は許可が必要になります。そんな事情があったのでパピーウオーカーさんには私の滞在するホテルへ来てもらうことになっていました。

ゼーダーのパピーウオーカーであるジョーンズさん夫妻がみえた時こんなことがありました。ジョーンズさんと再会したゼーダーが喜んで飛びつくだろうと思っていたのに私にしがみついて離れようとしません。ゼーダーがジョーンズさんの家を離れてから6年が過ぎようとしていました。ゼーダーの意外な反応に私は動揺しましたが、ハーネスをはずして「大丈夫だよ、会いに来たのだから挨拶しなさい」といってやるとゼーダーは、今度は尻尾をブルブルとまわしながらジョーンズさん夫妻の元に駆け寄りその足元にうずくまりました。

私たちは持ってきたゼーダーの写真を交換し合いました。私があのご馳走さまのポーズのわけを聞いてみるとジョーンズさん夫妻は不思議そうに「何のことですか」と聞くのです。あのご馳走さまのポーズは誰が教えた事でもなくゼーダーが人とのコミュニケーションを図るために自分で覚えたのだらうということになりました。しかし私はそれを知って満足しました。あのかわいいご馳走さまのポーズはゼーダーから私へのプレゼントと思えたからです。

ところでジョーンズ家には双子の子供たちがいたのですが、彼らはゼーダーと会う事をためらっているようでした。ゼーダーと会ってもまた悲し

い別れをするのがつらいというのです。こどもたちの揺れる気持ちを聞いて私の胸も痛みましたが、それでも彼らにはゼーダーに会って欲しいと思いました。それについてはジョーンズ夫妻も同じ考えだったので私はジョーンズさんの家を訪問することにしました。家の中に入るとゼーダーは盛んに室内のにおいをかぎまわりました。彼も何かを確かめていたのでしょうか。

この部屋の壁には家族や愛犬たちの写真がたくさん飾られていましたが、それとは別にテーブルの上にひとつだけ写真たてがあり、その中に私とゼーダーの写った写真が入っていると同行してくれた友人が教えてくれました。それは5年前の訓練中に横浜で写されたものでした。ゼーダーのパピーウオーカーさんの元に送られるという話は聞いていました。その写真がこの部屋にあったのです。それについて奥さんのリンさんが説明してくれました。「私たちはパピーウオーカーをするとき誓約書にサインをしていて、預かった犬と別れた後、決して何も望まないと誓いました。だからゼーダーがどこのどんな人と暮らしているのかまったく知らされていなかったのです。ただ一枚この写真が送られて来たとき、ゼーダーの主人となった人が女性であることだけがわかりました。私たちがパピーウオーカーとして初めて扱ったのがゼーダーでした。ゼーダーのトレーニンングがどうもうまくいったので、それからずっとパピーウオーカーをしています。うちから出た犬で外国に行ったのはゼーダーだけでした。そのゼーダーとまた会えると聞いてどんなにうれしかったことで

しよう。私たち家族と同様に遠くに住んでいる親戚までその話を聞いて興奮してしまいました」

オーストラリアは犬のトレーニングが盛んな国で多くの盲導犬たちが海外へと輸出されています。しかしその犬たちが里帰りをしてくることは珍しいのだと動物検疫局の係官も言っていました。それだけオーストラリアの動物検疫が厳しいのかも知れません。ジョーンズさんたちに元気なゼーダーをもう一度見せたいという一途な思いで難しい手続きを乗り越えてきました。私の思いはこの家に来て報われたのです。

ゼーダーのパピーウオーカーさんに会ったことで私がゼーダーに抱いていた疑問のすべてが解けました。ゼーダーの性格も子犬の頃とちつとも変わっていないことがわかりました。ゼーダーは私の前で自分のすべてを出してくれていたのです。

この旅行の手続きをする中でオーストラリアから日本に渡った盲導犬たちの苦難のプロセスを知ることにもなりました。この体験で得たことを人に伝えていく事も私の役目のひとつかもしれません。

ジョーンズさん夫妻が言ってくれた言葉を思い出します。「ゼーダーは盲導犬になるべくして生まれてきた犬だと思っている」。

盲導犬として働いている犬たちは、みんなそんなのではないのでしょうか。このすばらしい能力を持った犬たちを理解し、慈しみ、守っていく事が人間のできる一番の応援ではないかと思えます。

成年後見制度等学習会

高齢期を安心して過ごすための情報がたくさん！
大勢の参加をお待ちしています

- 日時 3月9日(水) 午後1時～3時30分
場所 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)コンベンションホール他
内容 第1部 講演会「成年後見制度って何だろう」
第2部 分科会(グループワーク)
参加費 無料
主催 岡谷市 岡谷市社会福祉協議会
岡谷市高齢者クラブ連合会
問合せ 介護福祉課 ☎23-4811
(内線1255)

出前 介護者サロン「長地」

日ごろ介護をしていらっしゃるみなさんの交流とリフレッシュの場として介護者サロンを開設しています。市内在住の介護者の方ならどなたでも参加できます。

- 日時 3月17日(木) 午後1時～4時
(この間、出入り自由)
場所 長地公民館
内容 気軽なおしゃべり・介護に関する相談
介護者の健康チェック
問合せ 社会福祉協議会 ☎24-2121
介護福祉課 ☎23-4811
(内線1255)

尊い善意を

ありがとうございます

平成16年12月1日～平成17年1月31日

●福祉基金へ

- 岡谷市鳥居平やまびこ公園様
- プリンススカイラインミュージアム様
- 小池食品(株)様 今井正行様 横内昭夫様
- 吉田淳一様 中田正彦様 渡辺雅彦様 浦野功様

●ボランティアセンターへ

- 使用済み切手
- (株)ダイヤ精機製作所労働組合様
- ボーイスカウト岡谷第2団様
- 岡谷たばこ組合女性部様 小松友一様
- 岡谷商工会議所様 カネ田山田工業(有)様
- 岡谷西部中学校様 (株)エグロ従業員有志様
- カノラホール様 ヤコブ幼稚園様
- 小井川小学校児童会様 (株)岡谷中部建設様
- 諏訪印刷様 間下区様
- 原光生様 匿名5名様
- 使用済みプリペイドカード
- 岡谷西部中学校様
- (株)ダイヤ精機製作所労働組合様
- カノラホール様 間下区様
- セブインレブン市市民会館前店様
- 岡谷たばこ組合女性部様 匿名3名様
- タオル150本 岡谷地区退公連様
- タオル、エプロン、石けん、紙コップ、スーパーパーバッグ、手ぬぐい、布巾
- 岡谷たばこ組合女性部様
- 尿取りパット・リハビリパンツ・おしりふき
- 匿名2名様
- 未使用ハガキ (株)エグロ従業員有志様
- 粉石けん5箱 安川勝郎様
- 書き損じハガキ
- 小井川小学校児童会様 小松友一様